大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成３０年度　学校通信　平成３０年９月２５日　No.２０

夏の小・中・自治会合同　奉仕作業の記録

夏休みに、西仙北地域の小・中・自治会合同の早朝奉仕作業を行いましたが、そのときの記録を学校にいただきました。写真記録を届けてくださったのは、西今泉自治会小笠原会長様です。子どもたちと共に活動してくださいました。

各自治会長様にお願いして、今年は奉仕作業ができました。誠にありがとうございました。三世代交流の一つにもなったようです。また、生徒たちにとっては、地元地域や近所の人たちを知るよい機会でもありました。本当にありがとうございました。

ソフトテニス１年生大会
佐々木(莉)・田口ペア全県へ

新人戦が終了した17日、全県１年生大会出場選考会が大仙市総合運動公園テニスコート行われました。本校からは、３ペアが出場しましたが、その中で、佐々木（莉）・田口ペアが、全県出場権を得ました。おめでとうございます。

全県大会は、大館ニプロハチ公ドームで11月に行われる予定です。ご声援をお願いいたします。

3年美術鑑賞教室

18日、３年生は県立近代美術館での移動美術鑑賞教室を行いました。学習指導要領では、美術科における鑑賞が重要な学習として示されております。本校では、その趣旨を踏まえ、横手市にある近代美術館のセカンドスクール利用として、各学年で授業を行っております。

今回は、３年生秋田県立近代美術館にて特別展「鴻池朋子　ハンターギャザラー」を鑑賞しました。日本の現代アートを牽引するアーティスト、鴻池朋子の県内初の大規模個展です。人間のものづくりの原型でもある「狩猟採集」をテーマとし、害獣駆除された熊の毛皮、縄文土器、奥羽山脈などを新たなスケールで視覚化し、エネルギーの問い直しを試みます。

（近代美術館ホームページより）

毎年、３年生になると美術の多様な表現について学びます。古典的な美術から近代の美術は鑑賞活動で触れていますが、現代美術は秋田ではあまり目にする機会がありません。いつもはインターネットや文献などで調べレポートにまとめてきましたが、今回は運よく、世界で活躍する秋田出身の作家、鴻池さんの展覧会が開催されるということで行ってきました。

エントランスから巨大な革緞帳がかかっており、度肝を抜かれました。いつも見ているのは紙に描くかキャンバスに描いてあるか・・・それが牛の皮に描いてあるなんて、みんな驚いていました。大量の毛皮が敷き詰められた展示室、山には口がついていたり、鏡張りの山だったり、巨大な板を彫って描いた作品など、頭の中は「？」でいっぱいになっていたことでしょう。

作家自らが熊の毛皮を被って阿仁川をのぼったり、雪山や岩場で秋田にある民謡を歌ったりするパフォーマンスの映像を鑑賞しました。これまで思っていた「表現」の概念が崩れた瞬間だったと思います。美術館の展示室に飾った後に直接彫刻刀で彫った作品には、削った木片もそのまま残されていました。

最後は３年生全員が一つの展示室に集まり、感想を言い合いました。「人間の欲望を表現しているのではないか」とか「この作家は何かおかしい、描き方が人と違う」とか「美術の考えを壊された」という感想がありました。

「人間はどうして「表現」するのか。」

深いテーマですが、今回の鑑賞をもとにして、美術の授業で考えていきたいと思います。

朝の街頭指導・あいさつこだま運動

19日から朝の街頭指導・あいさつこだま運動を行っております。

交通安全の意識高揚及び事故防止、並びに地域に元気を発信ということで、小・中合同の「あい

さつこだま運動」を保護者の皆様のご協力を得ながら行っております。西仙北小学校の玄関と、西仙北中学校のスクールバス発着所には、小学校の児童、中学校の生徒が互いに集まって、登校してくる皆さんとさわやかで元気なあいさつを交わしておりました。

指導主事学校訪問

20日、秋田県教育庁南教育事務所雄勝出張所の村田指導主事と北林指導主事が、学校訪問をしてくださり、ご指導を賜りました。

村田指導主事からは、２年Ａ組の保健体育の授業を参観していただきました。体育「バレーボール」～みんなで繋いで　みんなで決めて　みんなＨＡＰＰＹ～という単元で、ＩＣＴ機器等も取りいれながら、アタッカーについての技能を高める学習をしました。

北林指導主事からは、１年Ａ組の技術・家庭科の授業を参観していただきました。今回は家庭分野「一つの弁当から始まる健康で豊かな食生活（食生活の課題と実践）」の学習で、実際の弁当作りの経験から食育等について考えた１年Ａ組の皆さんでした。

どちらの授業もこれまでの学習のあゆみ、過程、積み重ねが見える授業であり、生徒たちはたいへん高いレベルで学習が進められているとおっしゃっていただきました。授業の集中力もあり、ＩＣＴ機器の導入で自分を客観的に見る目も養われるなど、これからの授業づくりの方向性も見られるともお話していただきました。

本校の研究テーマについては、自分の考えをもち（主体的）、学び合いによって（対話的）、生徒の変容・向上を図る（深い学び）ことを目指しているが、そのための研究協議の視点などを指導していただきました。生徒の自分の技能を高めたいという願いを踏まえた単元設定から、その課題の克服、また、自分の生活の課題を考えて、それを改善しようとする意欲・実践と、どちらの授業も生徒の思考・判断を深める授業だったと評してもいただきました。

お二人の指導を、全教科等で、また学校全体で共有していきたいと思います。たいへんありがとうございました。

全県駅伝健闘！　男子24位　女子9位

９月22日23日、2018全県中学校駅伝競走大会が、雄和の県営陸上競技場周回コースで行われました。本校は田沢湖駅伝大会で３位入賞を果たした女子チームと、８位と同タイムということで出場権を得た男子チームがそれぞれ出場しました。

女子は、１区3.1ｋｍで鈴木さんがハイペースなレースについていき、２区３区４区の２ｋｍ区間では佐々木さん、田村さん、田村さんが徐々に順位を上げて襷をつなぎ、最終区５区３ｋｍは昨年と同じ大友さんが力走、９位でゴールしました。

男子は、田沢湖駅伝１区区間賞の小笠原（創）君を故障で欠いたものの、６区間でそれぞれがもてる力を十分に発揮して24位でゴールしました。１区は小笠原（悠）、２区三浦君、３区齋藤君、４区菊地君、５区太田君から最終区３年生の後藤君へ、後藤君は、１・２年生が繋いだ襷をうけ激走、順位を一気に押し上げました。すばらしい走りでした。

選手の皆さん、また応援してくださった皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。